

平成30年7月17日

智頭町議会議長 谷口 雅人 様

総務常任委員長 酒本 敏興

### 委員会視察調査報告書

本委員会の調査事件について視察調査を実施したので、智頭町議会会議規則第77条の規定により、下記のとおり報告します。

#### 記

- 1) 日 時 平成30年7月2日(月) 午前8時30分～午後4時00分
- 2) 調査地 倉吉市東仲町2604-1 「倉吉商工会議所」  
倉吉市関金町山口2030-46 「道の駅「犬狹、(いぬばさり)」
- 3) 調査目的 「チャレンジショップ」と「農村観光地」事業の調査
- 4) 調査委員 全委員6名  
酒本敏興、國本誠一、中野ゆかり、岩本富美男、高橋達也、  
谷口雅人
- 5) 調査概要及び感想

#### ○チャレンジショップ「あきない塾」

「あなたの夢をかなえてみませんか、空き店舗を活用する新規出店者へ！」

倉吉商工会議所は、平成30年に赤瓦周辺の空き店舗を活用する店舗改修や、賃貸料に対する補助制度事業を導入した。

「自分の店を持ちたい」「趣味を生かしたい」という方の開業への第一歩となる支援制度は、中心市街地の商業活動参入を促すと共に、交流とにぎわいの場所づくりで活性化を図ることを目的としている。

中心街地に安い賃貸料での「チャレンジ出店」が可能で、独立の場合は「補助制度」を活用できる。現在は、「和カフェ茶屋」など公募による3店舗が営業中。

経営全般について、「創業支援メニューや創業支援制度は行政と商工会議所との連携がいかに重要か」という中小企業相談所長の言葉に共鳴した。

チャレンジショップの卒業生及び出店者(平成29年7月現在)名簿では、倉吉市内外で、新たな独立開業に向ける出店者が増えていることが確認できた。

本町においても、出店の夢を抱いている町民に店舗を提供し、地域活性化にもつなげるなど、類似の事業展開が望まれるため、町担当課や商工会に視察結果を報告したい。

○道の駅「犬狭」（いぬばさり）

「農村観光地」として、環境整備や都市住民との交流促進・地域の活性化に寄与するとして、倉吉市関金町で研修した。

「道の駅を基点に農産物の安定供給に努め、会員の相互関係の繋がりを深め、より安全で安心な農産物生産に心がけ、消費者ニーズに的確に応えたい。」という犬狭観光(株)支配人の熱い思いが語られた。

設立登記は平成10年7月で、資本金は18,500千円。昨年度の年間売上高は77,661千円（目標：83,000千円）となっている。地元農産物の販売を始め、お食事処や観光案内など、元日を除き年中無休で営業し、7名（正社員2名・パート5名）の従業員で運営している。

積雪も多い峠に位置し、決して良い状況ではないが、地元の方が手づくりの農産物を搬入したり、食事に来たりと、住民の集える場所にもなっている。

また、目玉商品として「わさび醤油」が好評とのことで、店舗販売はもとより電話での配送依頼も来ているとのことであった。

「住民及び観光客が集う拠点整備」「商工推進」という点において、本町でも今後、道の駅あるいは類似施設を整備する有効性を感じたが、その場合、目玉商品をどうするかが課題となる。